

平和のためにできること

一宮市立小信中島小学校 四年 矢野紬

毎朝、学校に行く前にパパとニュースを見
ています。外国で戦争をしているというニュ
ースを見ると、こわくておねがひきしま
す。ある日ママが「ママのおじいちゃんも戦
争に行っていたんだ」と教えてくれました
た。私はママのおじいちゃんに会ったことが
ありません。でもおばあちゃんの家におぶつ
だんのあるへ屋に写真がかざってあるので顔

を知っています。ママはおじいちゃんにて
いたんだよ」と教えてもらったこともありま
す。そのおじいちゃんが戦争に行くと知っ
て、私はとてもびっくりしました。その後、
ママにいろいろなお話を聞きました。空し
うかににげるために家ごととはなれてくら
た子がたくさんいたこと。女の子や中学生も
戦争のつづきをしたこと。広島や長崎には
くだんが落とされたこと。ばくだんをもっ
たいあたりをしていった人たちがいること。

たくさんの人たちが死んでしまったこと。今
も後いしよってくるしんでいる人がいること。
そして戦争のときに広島に住んでいた家ぞく
の写真がのっている本を見せてくれました。
家ぞくにご飯を食べたり、川で魚をとったり
いところと遊んだりしている写真がありました。
今のわたしと同じだなと思いました。この写
真の子たちも私みたいに大人になるまで生き
たかったらうな。好きなことをたくさんし
て、幸せな未来があると思っただけだろうな。

私は平和とはみんなが心配もなく、安心して
未来があると信じられる世の中だと思います。
この話を聞くまで戦争のことは自分とはかん
けいのないことだと思っただけで、ほとん
ど何も知りませんでした。でも、今はたくさ
んの人に戦争でどんなひがいがあつたのか、
どんな思いをしたのか、知っただけだと思
います。ひいおじいちゃんが生きて帰ってき
たからこそ、おばあちゃんが生まれて、ママ
が生まれて、私が生まれたと思うとすごいき

せきだし、私は生まれてきて本当によかった
な^あと思います。だからこれから私は戦争の
ことをみんなに伝えていきたいです。みんな
が戦争のこわさを知れば同じことが起こらな
いと思うからです。そして、みんなが幸せに
くらせるように考えつづけていきたいです。